

## 藤沢市子ども読書活動推進計画（素案）に対する パブリックコメント意見等の要旨及び市の考え方

### ①全体について（1件）

意見の概要	市の考え方
1 図書館のおはなし会に携わるボランティアは、参加する子どもと本を肌で感じており、子ども読書活動推進計画に大いに関心を持ち、考え合っていた方がよいと思う。そのためにも、この未来の内容を検討する期間（提出期限）をもう少し長くしてほしい。	<b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b>  藤沢市全体として、パブリックコメントの期間は原則として30日としています。

### ②学校図書館の充実・整備（4件）

意見の概要	市の考え方
2 土・日や長い休み中に学校図書館を開放してほしい。	<b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b>  休日については、学校管理上、学校図書館は校舎内であるため開放することは困難な部分もあります。長期休業中については、中学校では学習会等を行ったりしていますが、今後、効果的な活用について模索していきます。
3 かなり古い本をなかなか廃棄できない。	<b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b>  各校の司書教諭、学校図書館専門員を中心に廃棄本、購入本の選定を行い定期的に廃棄・購入を行っています。
4 毎年の図書購入予算の中で新品の定価で購入する本以外の古本（現在は新品に近い古本が大変多い）を購入できるようにしてほしい。	<b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b>  書籍の購入は指定された書店へ注文を行い購入しており、原則古本の購入はできないこととなっています。
5 市内中学校には朝読の時間を設けていない学校もある（代わり、新聞を使った探求の時間を設けている）。中学生は部活動や塾で忙しく、在学中に一度も学校図書館を利用しない生徒が多くいる。現場の教員との連携の充実を図ることを希望する。	<b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b>  読書活動の推進には各校の司書教諭や図書担当教諭、学校図書館専門員がかかわり、学校図書館の運営を担っています。生徒の読書活動、図書館の利用がより向上するよう働きかけていきます。

③教職員（司書教諭含む）・学校図書館専門員（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>6 現在の学校図書館専門員の勤務日数では、十分な図書館整備や児童生徒への関わりができないと思う。例えばモデル校で勤務日数を増やし、効果を検証し全校へ波及させるなどできないか。子どもに一番身近な学校図書館の充実が「すべての子どもを読書の楽しさへ誘う」ことにつながると思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>図書ボランティアも含め、これからも学校図書館に係る教職員等で連携を深めながら児童生徒の図書教育の充実を図っていきます。</p>
<p>7 学校図書館専門員が小中学校に配置されたことは素晴らしいことだが、素案のP35(4)行政に「〇市民図書館・市民図書室や学校図書館等に求められる機能が十分発揮できるよう、施設環境の整備充実や運営体制面の強化、各施設の連携等に努め、・・・」とあるように、今後とも行政の支援は不可欠だと思う。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>第4次計画でも引き続き市民図書館・図書室と学校との連携を続けていきます。</p>
<p>8 総合市民図書館で作成している小、中学生へのおすすめの本のブックリストや趣旨等も、自分で図書館・図書室に足を運ぶ子どもたちは見守っていても自分で読み進めるが、本当にPRしたいのは図書館に来ない子どもたち。学校図書の専門員の方々や先生方にもPRする機会を作り、その内容を図書の時間に子どもたちに伝えていただけるようになるとより生かせると思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>『読んでみませんか!』『この本みつけ!』を各学級ごとに配付しています。作成・配付だけではなく、活用を促がすことを検討していきます。</p>

④学校図書館と市民図書館の連携（5件）

意見の概要	市の考え方
<p>9 学校におけるおはなし会など読み聞かせは、カリキュラムの変化に伴い、年々実施が困難な状況にある。図書館などがバックアップすることで、学校における読み聞かせなどのボランティア活動に対する、教育現場の理解が深まるようにしてほしい。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>市民図書館と学校図書館担当者との連携会議や、研修の機会等で、読み聞かせの重要性や市民図書館の利用方法等について、教員等への情報提供を続けていきます。</p>
<p>10 YA世代の本離れを阻止するために、学校図書館（特に高校において）連携を密にする。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>高校は県の管轄となり、現在も様々な事業の中でかわりをもつことがあるので、そこから発展させていきます。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>11 学校・地域で読書を支援するという一方で、子どもが利用する学校図書館や地域図書館の協力体制の充実はとても大切だと思う。子ども達に本の楽しさを伝えるため、本を手渡すことが大切である。手渡すにあたっては、工夫と共に本自体が魅力的である必要もあると思う。学校図書館や地域図書館の本には傷んでいることも多い。新しくきれいな本は魅力の一つであり、手に取りたいと思う本を学校図書館・地域図書館に揃えることも重要だと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>新刊購入だけでなく、読み継がれている資料の再購入（買い替え）もきちんとしていきます。</p>
<p>12 「読書ノート」を大いに活用すべきだと思う。市内、保育園、小学校、中学校、高校へ本のリストだけでなく、読書記録の一助として、積極的に配布してみてもどうか。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>「読書ノート」については、これからも必要とされる施設に向けて、積極的に活用を進めていきます。</p>
<p>13 ブックリストの配布やヤングアダルト通信の配布については、ホームページを見ることができない子どももいるので、引き続き継続をしてほしい。小・中学校だけではなく市内の高校にも配布をすることができれば、ヤングアダルト通信を読んで高校生が図書館に来館する可能性もあると思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>施策の展開7「発達段階に応じたブックリストの充実」に掲げたとおり、引き続き実施していきます。指摘されたように、児童・生徒向けの刊行物は紙での作成を続けることが大切だと考えます。また、様々な機会において配布していきます。</p>

⑤市民図書館のサービス（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>14 以前住んでいたさいたま市の図書館システムが非常に良いものだったので、藤沢市の図書館に物足りなさを感じている。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>No.5 1「市民図書館の環境づくり」に含んで取り組んでいきます。利用者の意見も積極的に取り入れられるようにします。</p>
<p>15 障がいのある子どもへのサービスについて、「宅配サービスの周知と利用促進」とあるが、施設へ団体貸出も可能だと思う。全ての子どもを対象とした計画案なので、積極的な周知と迅速な利用（活用）になるよう、具体案を示してほしい。</p>	<p><b>計画案に反映していきます。</b></p> <p>市内の障がいのある子どもを支援する施設へも、団体貸出サービスの周知等を行う旨を追記しました。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>16 コロナ禍での読み聞かせや図書室の利用方法が未整備な印象がある。私自身は保護者として0歳の娘のために図書室を利用しているが、滞在期間を短くしたいため、事前予約を活用している。しかし予約できる冊数と借りられる冊数が6冊と少ないこと、予約した本が届くのに時間がかかること、予約した本を受け取ったことがwebで反映されるのに時間がかかり、予約の上限解除がなかなか成されないことを不便に感じている。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>図書室所蔵の資料について第3次計画において検索できるようになりました。第4次計画では、市民図書室オンライン化の実現に努めていきます。</p>

⑥市民図書館の充実・整備（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>17 電子書籍の導入によって紙媒体と比較でき、選択の幅が広がる。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>第4次計画では、市民図書館の環境づくりを拡充とし、その中で電子書籍の導入について検討していきます。</p>

⑦市民図書館の情報提供（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>18 YA世代の本離れを阻止するために、YA世代の関心事にアンテナを張って情報収集し、情報提供を行ってみるのはいかがでしょうか。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>職場体験学習等の機会も利用しながら、YA世代の興味・関心について積極的に情報収集を行い、選書や事業に活かしていきます。</p>

⑧ 子どもの身近にいる大人への働きかけ（2件）

意見の概要	市の考え方
<p>19 藤沢市では、子どもの興味・発達段階に応じた様々な取り組みを行っている。ただし、子どもに焦点をあてた活動も、乳幼児には保護者や身近な大人の手助けが必要である。定例の子ども向けの活動と共に、大人や教職員向けに、読書の魅力を伝える、親子で読書を楽しむイベント等を行い、読書に関わる全ての人への啓発・支援をしていくことが、子ども読書活動に結び付くと思う。趣味や娯楽の多様化によって、図書館に出向く機会も減少していると思うが、家にいながら、図書館を楽しめることも考えていかなければならないと感じている。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>子どもの読書活動を推進するために、大人を対象とした講座や講演会等の事業を引き続き実施していきます。</p>
<p>20 小学校でのボランティアによるおはなし会では、子どもたちはとても興味を持って楽しんでくれている（先生方も）。そこからもう一步楽しかった本を学校図書室、近くの図書館、家で借りて他の本も読んでほしい。それには大人（親、先生）の導きがまだまだ必要と思われる。おはなし会の様子を学年だよりの行事の欄に入れていただき、親の見学を可能にしたり、授業参観の前後の時間や学校の図書の時間を利用して、本の紹介や図書館案内をするなど、少しずつ繋がると良いと思う。それぞれ活動が学校、図書館、教育機関など協力できたらよいと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>各校では、おはなし会の予定や活動報告について学校だより等への掲載、児童生徒への図書の紹介、読みきかせ等による学習補助が行われています。今後は、授業参観等の機会を活用し保護者への理解を図ることをはじめ、子ども読書活動の推進のため、学校、図書館、教育機関等の連携を深めていきます。</p>

⑨ ボランティア（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>21 整理修繕ボランティアの研修会は行われているが、読み聞かせボランティアについては市として研修会や交流会は行われていないかと思う。様々な形での団体があり、把握が難しいかと思うが、図書館・図書室ボランティアの交流会のような形の会が、学校読み聞かせボランティアでも開催されるとよい。そこから図書館図書室ボランティアへと繋がることも期待できるかと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>市民向けの読み聞かせ講座「読み聞かせてなあん」は毎年行っていますが、学校図書館で活動している読み聞かせボランティアの参加は少ない状況にあります。学校図書館を通して、そのような事業の周知をより積極的に行うほか、市民図書館職員が学校へと出向いての研修についても検討していきます。</p>

⑩ 本と触れ合う機会（6件）

意見の概要	市の考え方
<p>22 No.35「子ども同士で本を薦め合う」について、鶺鴒小ではPTAの絵本サークルが児童、保護者、先生からおすすめ本の紹介文を寄せてもらい、年に一度冊子にまとめ全校に配布する活動を20年にわたり続けている。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>各種ブックリストを引き続き作成配布しながら、第4次計画で追加した事業 No.35のもと子ども同士で本を薦め合う機会の充実に努めます。</p>
<p>23 No.35「子ども同士で本を薦め合う」はともよいと思う。中学から高校生にとって、親が薦める本より、同年代の友人からのおすすめ本の方が興味を持つ。</p>	
<p>24 子どもが本に出会うのは人の声から、目から手に取って、五感と共にあってこそ子どもの心に残り、血となり肉となる。できるだけ実際に触れる環境が身近にあるということが大切であり、図書館・図書室をどう用意できるかにかかっている。ネットや動画で触れて、それを本物だとしていく子どもは大変不幸である。様々な検索がパソコン操作の技術で左右されて、豊かな人間が育つとは思えない。情報量が多いことは決して幸せなことではない。たった一冊心に残る本に出会うために何ができるか考えるべきだと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>事業 No.74「さまざまな場における図書資料の整備」などで挙げたように、子どもたちが紙の本を手にとれる環境の整備を積極的に進めていきます。</p> <p>電子書籍については、本や読書への興味を持つひとつのきっかけとして、また障がいのある利用者の利便性の向上などを踏まえ、導入について検討していきます。</p> <p>電子機器が子どもに与える影響については、引き続き様々な意見等を注視していきます。</p>
<p>25 最近はパソコンやスマホによる読書が勧められる傾向にあるが、少なくとも幼児や児童には書籍による読書環境が保証されるべきだと思う。電子機器が子どもたちの視力や脳の働きに悪影響を与えるだけでなく、絵本や児童書の記憶は書籍そのものとして残るからこそ、次の世代へと引き継がれていくものとする。子どもたちが本を読まないからと、安易に電子機器に頼るのではなく、地道に本に触れることの大切さを伝えることを期待する。</p>	
<p>26 コロナ禍で図書館が再開したとき、本棚から選べる喜びを改めて感じた。本屋では気軽に買えないが、図書館は手に取り、めくって、持ち帰れる。本に触れるのは、デジタル図書とは別世界である。デジタル書籍では前頭葉が抑制されてしまう。心と脳を育てる『本』を図書館では守って頂きたい。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>27 一冊の本との出会いが、その人の人生をずっと見守り、豊かな心を育むスタートになる。素晴らしいストーリーと絵は、時を超えても、心に残り生き続ける。子ども達の人の心を大きく育てることができるのはデジタル化されたものではなく、作り手の心が、読み手の心に届く一書であってほしい。読み聞かせをする人はそのよきプレゼンターだと思います。家庭では本の所蔵数に限りがあり、沢山の蔵書を備えた図書館が果たす役割は大きい。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>家庭で、親子で本を楽しむ機会の充実のための取り組みを引き続き行っていきます。またリーフレットなどで紹介していきます。</p>

⑪ 情報リテラシー教育（2件）

意見の概要	市の考え方
<p>28 児童・生徒1人1台の情報端末配布が進められるなど、情報リテラシー教育が急務だと感じる。情報化がますます進む現代において、自分で考えることのできる子どもを育てるため、情報センターとして図書館を活用することに関連する事業の充実、連携を望む。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>学校図書館は、児童生徒の自発的・主体的な学習活動の支援及び、情報の収集・選択・活用能力を育成する「学習・情報センター」としての機能を担っています。情報リテラシー教育の視点も含め、児童生徒の情報活用能力の育成に学校図書館が十分活用されるよう、担当教職員への研修会等で働きかけていきます。</p>
<p>29 今年度中に市内の学校で1人1台のタブレット端末が配備されると知った。ネットワーク事業の推進としてタブレットのホーム画面に市民図書館のトップページのショートカットアイコンを追加してはどうか。市民図書館は県内の大学・公共図書館、国会図書館などとリンクしており年齢が上がる毎に広く深くなる興味・知識に感じられる、安全で大きなデータベースが提供できる。</p> <p>また、昨年のシステム整備で、利用者個々に合わせた新着資料のお知らせメールが毎週届けられるようになった。タブレットのホーム画面に市民図書館の入り口を作って、子ども達の身近な存在にしてほしい。情報リテラシー教育の一助になるだけでなく、生涯にわたる読書につながっていくと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>タブレット端末の活用や情報リテラシー教育の推進に当たっては、関係部署と連携し取り組んでいきます。</p>

⑫ おはなし会、ブックトーク（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>30 学校では必須の授業の科目が増え、おはなし会のための時間確保も難しくなっている。その上コロナ禍でますます機会がなくなっている。可能な時間と機会を有効に使って実施できるとよいと思う。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>特に低学年の国語科の読み聞かせについては、学習指導要領に示されているなど、学習としても必要な活動であります。学校ごとの実情を踏まえ、学校へ働きかける機会を模索していきます。</p>

⑬ 計画の推進（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>31 今年度は、新型コロナウイルスにより図書館に限らず、子どもへの読書活動支援活動はかなり制限を受けてしまった。第4次読書プランにおいて、これまでの読書プランをさらに発展して継承されていくことを望むところだが、さらに今後も断続的に起こるかもしれないコロナ禍のような状況においても、家庭に居ながらにして子どもたちに読書に結び付けられるよう、本や知識に関する手立てを届ける方法をぜひ検討してほしい。</p> <p>藤沢市も他市に後れを取ることのないよう積極的にインターネットを活用していく施策を盛り込んでほしい。施策の展開20「快適な市民図書館の環境づくりの推進」に期待したい。</p>	<p><b>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</b></p> <p>インターネット環境を活用して、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」図書に親しめるような環境整備に取り組んでいきます。</p>

⑭ その他（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>32 我が家の子ども達はずっと図書館のお世話になり、1人はその道に進むことを希望している。図書館の読み聞かせ（おはなし会）も毎月楽しみにしていた。</p>	<p><b>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</b></p> <p>今後も引き続き、定例のおはなし会や季節や行事に合わせたおはなし会などを実施していきます。</p>